



文化博物館だより 第185号

2007年8月30日

みなさん、こんにちは。暑かった8月もいよいよ終わろうとしています。

● 文博ニュース第46号が発行されました

文博ニュース第1号が発行されたのは92年。当時はB5版5ページ立てで、表紙のみカラー刷りでした。それから何度か変更があり、01年にA4版の8ページ仕立て、全ページカラー刷りになりました。そして今号から文博ニュースは新装します。発行回数が年3回から年4回に増え、これまで以上に新鮮な情報をお伝えできるようになりました。表紙や中のデザインもすっきりとイメージ一新。女性のハンドバッグにも入れやすいコンパクトなA5版になりましたので、どうぞお持ち帰りください。当館受付で無料配布中です。



表紙はうめさんの人形です

● バルーン・アートを作ろう！

8月26日(日)、ワークショップ「バルーン・アートを作ろう」が開かれ、たくさんのファミリーにお越しいただきました。専用の風船をハンドポンプで膨らまし、ねじりながらネコやウサギの形を作っていきます。ねじる最中に風船が割れて大きな音



白鳥ができました

がすると「次は自分かも」と各テーブルで笑い声が起こりました。「体が8センチ」とマニュアル通りの長さでねじったつもりでも、途中でバルーンの長さが足りなくなってしまうことも。足が短くなってしまった犬に「これはダックスフンドだね」「作った本人に似ちゃったね」と家族で品評する場面もありました。

● 8月31日のラジオに文博が登場します

文博は企画展「祝百寿・渡辺うめ人形展」で賑わっていますが、9月8日(土)から次回企画展「兵庫のやきものとその周辺展」が始まります。やきもの展開催に先立ち、8月31日(金)のラジオ関西「ばんぱひろふみ！ラジオ・DE・しょー！」に館員が登場します。午後2時25分頃からです。ぜひ聞いてくださいね。

バルーン・アートに紙で目をつけると、動物に表情が出来て可愛くなりました。目は大切ですね。